

# 整頓について

お仕事の後に用具をしまひ忘れたり、抽出の中が亂雑だつたり、つまり身の廻りを何時もきちん整頓出来ぬこゝもは大抵氣持にもしまりがありません。餘り細かい事を一こまやかくいふのは殊に男の子の場合いじけさせてしまはないか懸念もされますが、内的な氣持のしまりこゝ、外的な身の廻りの整頓こゝいふ問題は常に聯關してゐる事を思ひます。眞剣に考へざるを得ません。

多くのこゝも達に接してゐるこゝ、始終、「誰さん、クレオンが出しつ放しですよ」等々定つて注意しなければならぬ子があります。さうしたこゝもはきつこゝ、氣持にもしまりがないのですが、多くの場合そのかけには同型の母親がゐる様に思はれます。つまり母親が家内の整頓に關して無關心であるこゝいふ場合です。所が其の反對に母親が餘り熱心に整頓に意を用ひる爲にこゝもものやる事がごまかしくて見てゐられず、つい手を出してしまひ、こゝもには手を下させないこゝいふ場合もあります。又人手があつて幼児の入

附屬幼稚園 安村 ふ さ

りこむ隙がないこゝいふ場合もあります。さういふのが積り積つて何でもやりつ放し、出しつ放しのこゝもになつてしまふ様ですが、扱それでは幼稚園ではそのまゝ放つておいてよいでせうか。若しいけないこゝしたらさういふ風にしてさうならない様にしたらよいでせう。私は此の新學期こゝいふ絶好の機會を捉へて、さういふ悪い癖の忍びこむ隙を阻まうこゝ考へて居ります。

何事でも最初が肝心であります。新入の幼児には先づ幼稚園に慣れ親しませねばなりません。夫と同時に整頓等の良い習慣は始めから感りなくつけなければなりません。一、かうしなくてはいけない、あゝしなくてはいけない、こゝいふ感じでなしに、かうするもの、あゝするものこゝいふ風に致したいと思ひます。こゝも乍らも、幼稚園に入つた、大きくなつた、感じてゐるのですから、さうする事が却つて、嬉しくもあり、誇らしくもあると思ふのです。

其の氣持を捉んで、例へば自由畫を描かせる時には、抽

出からクレオンに帳面を持つて来させ、帳面は手前にクレオンは其の向ふにきちんとおき、帳面の今日使用する場所を開いて、描くさいふ形にするのです、描き終つたなら帳面は一定の場所に飾り、クレオンはもこの抽出にしまひ、それから遊ぶさいふ様な手順にしますので。之を再三繰返します、夫が習慣になり、こんな場合でもさういふ手順を取る様になります。もしクレオンが亂雑においてあつたりしまひ忘れて他の遊びに入つたりした場合は、直にそれを訂正させねばなりません。やさしく、然も適當に感銘を與へる様に。一度見逃す、そこから、次第に崩れてしまひますから今は自由畫の場合を申しましたが他の場合でも同様でありまして、要領は、自分の廻りは常に整頓し、使つたらすぐもこへ、さいふ事であります。そして一度でも例外を作らない事が肝心だと思ひます。私の貧しい経験からいつても、例外を作つた爲に、又最初によい習慣をつけ損ねた爲に其の後その子が修了するまでその矯正にどれだけ骨を折つたか知れません。

叔、大東亞戦争の今日、家庭に於ける人手不足がごの様に影響してゐるかご申します、ごも達の整頓について丈いつても大變な好結果が現れて居ります。つまり、母親達が何かご用事が多くなつた爲に、幼稚園期のごも達は、自分の廻りを自分で仕末しなければならなくなつたの

です。もう今は國民學校の兒童ですがその子ごも達に、「お家でどんな御用をするの」を訊ねた時、おもちや箱の整理、本棚の整理、お膳立回覽板をまわす、靴みがき、庭掃除さいふ順序で答へを得ました。そして「此の頃のおもちやは釘でなく糊でつけてあるんだよ、だからさうつみ入れないさすぐめちやく／＼になるの」さいふ一幼児の話聞いた時之は好い事だと思ひました。幼稚園に於てもものを大切に取扱ふさいふ傾向が強くみえる様になつて、繪本も積木もこの場所に、子供なりにきちんとおかれる様になりました。従つて、氣持もごこごなく、しまりがついて来た様に思はれます。誠に、戦争のおかげであります。

新しい幼児を迎へるこの新學期、かうした折角のよい雰圍氣にゐる今です。整頓さいふ一見小さな問題もゆるがせにする事なく、しつかりした人間の素地を作る事に努力いたしませう。